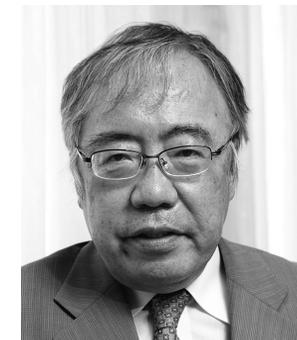


株式相場の転機は近いのか

証券ジャーナリスト
前田昌孝



- * 高騰続く日本株の実相
- * 商社株大量買いしたバフェット氏
- * 過去最高更新続く企業業績
- * 目を引く富裕層消費
- * 増え続ける個人金融資産
- * 可処分所得が増えている背景
- * 不安薄れる老後2000万円問題
- * 若い世代で始まった前向きな変化
- * 人口減少には生涯現役で対応
- * 日本経済復活への兆しか

山縣 それでは開会いたします。（拍手）
このところ金曜日は毎回雨ということですが、今日は比較的天候もよくてよかったですとお思います。

今日お招きしました前田先生は皆さんもご案内のように、日経新聞の証券部で長くお仕事をされ、ワシントン支局にも行かれ、それから日本経済研究センターの主任研究員も務められて、昨年、自ら会社を起こされて、現在証券金融市場の分析をずっと続けていらっしやいます。

最近アメリカのほうで金融政策決定会合があり、日本でも金融政策決定会合があり、それからECBの理事会でも決定会合があると、主要国の金融政策の状況が全部わかったところで先生に来ていただくということで、非常にタイミ

ングのいいことになったと思います。
それでは、前田先生、よろしくお願ひいたします。（拍手）

高騰続く日本株の実相

前田 今年もお招きいただきましてありがとうございます。前田昌孝でございます。

去年の1月末に日本経済新聞を嘱託定年、65歳の定年で退職いたしましたして、定年後ゆっくり休んでしまうとその後何もしなくなるだろうなと思ひ、すぐ翌日からマーケットエッセンシャルという媒体を立ち上げて、毎週いろいろな情報を流しております。去年お話しさせていたいただいたのがやはり6月だったと思うんですけども、そのときも大勢の方にお試しに読んでみた